

Annual Report 2016



日本の“FUKUSHI”を世界最高の“welfare”に。

少子高齢化や生活困窮など、様々な問題を抱える日本。
日々、〇〇しています
近年はその幾つもの問題が複雑に絡み合い、地域福祉に求められるニーズも多様化しています。

その変化に応じて、これまでの既存のサービスや枠組みにとらわれず、
根底から福祉の業界を変えていく必要があります。

わたしたちは、これからの福祉を担う【若手人材】と全国の【福祉法人】を軸とした、
価値のあるコンテンツを生み出し、それを【地域】に広めていきます。

全国の【福祉法人】が主体的に福祉人材確保に取り組むためのサポートと、
「人材確保」をキーワードにしたネットワークづくりをしていきます。

地域の福祉を担う【福祉法人】が、これからも発展し続けるために、
誰もが地域で当たり前で暮らせる社会を、みなさんとつくっていくために。

FACE to FUKUSHIは福祉の人づくりに取り組んでいきます。

そして、
日本の“FUKUSHI”を世界最高の“welfare”に変えていきます。

これからの福祉を支え続ける人材を輩出するために、 【若手人材】×【福祉法人】の好循環を生み出す。

ますます人材不足が深刻になる福祉業界。

社会のニーズが複雑になる中、福祉業界が継続的に発展するためには、有能な人材を集めることが必要です。

【若手人材】が福祉の魅力を知り、魅力的な【福祉法人】に出会い、入職後もやりがいを感じながら働き続けられる環境が必要です。
そして、それを見た次世代の【若手人材】が福祉に興味を持つ、という好循環を生み出していくことが不可欠です。

ISSUE

FACE to FUKUSHI (F2F) が考える3つの課題



1 若手人材が業界に入っていない

大学の福祉学部・学科を卒業した学生であっても、半数以上が福祉以外の職業に就いている現状があり、福祉を選択肢に入れる【若手人材】が少ない。

2 つながる機会が少ない

【福祉法人】の情報発信が不十分なため、【若手人材】に情報が届いておらず、マッチングにつなげられていない。

3 人材が業界に定着しない

採用時のミスマッチや新人研修制度が不足している【福祉法人】が多く、就職後3年間で約4割が離職している。

MISSION

【若手人材】×【福祉法人】の好循環

学生時代

【若手人材】が福祉の魅力を

知る

福祉のリアルな現場を知らない【若手人材】にアプローチ。

就職活動

【若手人材】と【福祉法人】の

つながる

出会いの場や、魅力を分かりやすく伝えるなど、【若手人材】と【福祉法人】がつながるためのアプローチ。

就職後

【福祉法人】内で

続ける

仕事内容や待遇面などにおいて、スタッフが魅力を感じながら働いていけるためのアプローチ。

【若手人材】×【福祉法人】に向けた採用に関するコンテンツ提供

【福祉法人】に向けた育成・定着に関するコンテンツ提供



全国の福祉法人が、主体的に人材確保に取り組んでいくために

誰もが地域で当たり前で暮らせる社会を実現するために、様々な企業や福祉法人などの連携団体と一緒に、【採用】、【育成・定着】のコンテンツを生み出します。そして、そのコンテンツを【啓発】として、全国のネットワークプロデューサー(NP)に広げ、各地域が主体的に人材確保に取り組める土壌をつくっていきます。

採用

【若手人材】に魅力的な福祉の情報を提供したり、【福祉法人】に向けての採用勉強会や、お互いのマッチングの機会創出など、採用につながるあらゆるコンテンツを提供します。

- 福祉就職フェア
- 福祉人材採用戦略セミナー
- FUKUSHI MAKERS SUMMIT
- 地方でのFUKUSHI就職フェア
- フクシゴト(仕事情報サイト)
- 福祉人材確保勉強会

→ P.5,6



就職!

福祉の魅力を知り、魅力的な福祉法人に出会い、自分が働きたいと思う法人に就職する。

フクシカ!!

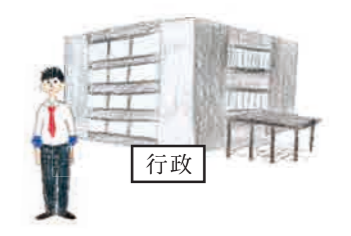
福祉に魅力を感じながら働き続け、福祉のエキスパートに成長する。

育成・定着

法人内のスタッフが、仕事内容や待遇などのあらゆる面で、やりがいや魅力を感じながら働き続けられるように、スタッフの育成や定着に関わるコンテンツを提供します。

● FUKUSHI CAMP

→ P.7



福祉の情報や知識が不足していて不安

そもそも、福祉のことを良く知らない

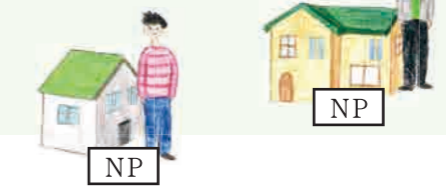
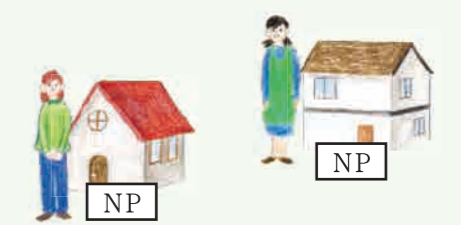


啓発

採用、育成・定着に関するノウハウを全国に広め、地域ごとに主体的に活動していくために、地域ごとのネットワークプロデューサー(NP)とつながり、連携を強めるための活動をしています。

- 福祉人材戦略フォーラム
- ネットワークプロデューサーとの連携強化
- 講演活動

→ P.8



ネットワークプロデューサー(NP)とは?
 地域の福祉事業所、行政や多様な団体とネットワークをもち、その地域のハブとなる中心的な人や団体のこと。ゆくゆくはNPが主体となって、その地域の福祉を考え動かしていきます。

【若手人材】×【福祉法人】

福祉就職フェア

全国の最先端の福祉法人と若手人材の出会いの場を創出します。
春と夏の2回、東京と大阪で開催しています。



2018年新卒向け 福祉就職フェア

FUKUSHI meets!

旅するように福祉と出会う。

今回のフェアのテーマは【旅】。旅の途中に意外な出来事や思ってもみなかった人との出会いがあるように、フェアの会場で意外な出会いのきっかけづくりをすることで、今まではなかなか接点のなかった学生との出会いを創出しました。



ブースを回ってシールを集めると、法人ならではのお土産が貰えるシールラリーなど、【旅】を連想させるコンテンツを盛り込みました。

東京会場

日程：2017年3月27日(月) 12:00-18:00
会場：ヒューリックホール カンファレンスROOM 0
〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-22-16 ヒューリック浅草橋ビル

来場者数 301 人
出展法人数 36 法人
ブース平均訪問者数 35.9 人

大阪会場

日程：2017年3月20日(月) 12:00-18:00
会場：グランフロント大阪 ナレッジキャピタル
〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB 10階

来場者数 235 人
出展法人数 25 法人
ブース平均訪問者数 35.8 人

【福祉法人】

福祉人材採用戦略セミナー



採用の目的、人物像の設定、広報戦略、採用フローをワークショップを通して考える4回のセミナー

日程：2016年11月7日(月)
2017年1月13日(金) 2月3日(金) 2月28日(火)
会場：熊本県総合福祉センター 5F 研修ホール ほか
参加者：熊本県内19法人から50名以上が参加
共催：熊本県知的障がい者施設協会

- 4回のセミナーを通して採用戦略を立案するとともに、「人材確保」をキーワードにしたネットワークを醸成
- 2017年度は、参加メンバーで独自の就職フェアを開催予定

【若手人材】

FUKUSHI MAKERS SUMMIT



福祉の未来をつくる学生が、福祉のリアルを知り、語り合う場。2ヶ月に1回程度、東京、大阪、仙台など全国各地で開催

日程：2016年7月2日(土)、3日(日) ほか全6回開催
会場：東京、大阪、仙台

- 毎回ゲストを呼び、福祉のリアルな話を聞きながら、参加学生が考える福祉を学生同士で議論する
- 福祉を知り、語ることで改めて福祉の魅力を実感する

【若手人材】×【福祉法人】

地方でのFUKUSHI就職フェア



全国各地のパートナーと連携した就職フェアの企画・開催

日程：2016年7月(北海道)、11月(宮城)、2017年3月(新潟)
会場：北海道、宮城、新潟

- 各地では、都道府県内の複数事業所で実行委員を組んで、独自に企画～広報～運営を実施
- 北海道(5法人50名)、宮城(15法人80名)、新潟(15法人100名)と、どの地域でも大変賑わった就職フェアとなった
- 2017年度は、上記に加え、九州と沖縄でも開催予定

【若手人材】×【福祉法人】

フクシゴト(仕事情報サイト)



魅力的な全国の福祉法人の情報を伝える情報サイトを運営しています。求人情報のほか、働く人にフォーカスを当てた福祉人図鑑など、充実したコンテンツ内容です。



<https://fukushigoto.f2f.or.jp/>

【若手人材】×【福祉法人】

福祉人材確保勉強会



大学教員、大学生、福祉法人人事担当、福祉人材センター職員など、様々な立場の人が集まり、「福祉をもっと魅力的にするには?」「人材採用をどうしていくか」など、テーマを設けて定期的に勉強会を東京と大阪で開催しています。

【福祉法人】 FUKUSHI CAMP

日本最先端の事例を視察し、先輩メンターからのアドバイスを受けながら、自地域の課題を解決し、地域福祉を良くする事業をつくり上げる合宿研修です。



福祉の未来をつくる3日間 FUKUSHI CAMP in 北海道 次世代リーダー育成プログラム

福祉の未来をつくる3日間。全国各地から集まる「仲間」とともに、先輩メンターからアドバイスを受けながら、自地域の事業をブラッシュアップ。日本最先端の事例を視察しながら、誰のために、何のために事業を行っているのか改めて考える機会になりました。



北海道

日程：2016年10月12日(水)、13日(木)、14日(金)
場所：社会福祉法人ゆうゆうの各拠点、北海道医療大学

参加者数 全国各地から **16** 人

千葉

日程：2017年2月6日(月)、7日(火)、8日(水)
場所：社会福祉法人福祉楽団の各拠点、成田ビューホテル

参加者数 千葉県内を中心に **8** 人

主なプログラム

- 日本最先端の事例の視察
- 有識者による講話
- メンターによるアドバイスを受けながら、事業のブラッシュアップ
- 参加者同士の情報交換
- 事業プランプレゼンテーションとフィードバック

【福祉法人】 福祉人材戦略フォーラム

福祉人材を集め、育てるために必要な知識・視点を得るヒントがたくさん詰まった全国版フォーラムです。



福祉人材戦略フォーラム

日程：2016年7月2日(土) 11:30-17:30
場所：ベルサール泉ガーデンギャラリー

来場者数 **232** 人

実施したプログラム

- 基調鼎談「福祉を再考する。～熊本地震の支援現場から、福祉の魅力を考える～」
- シンポジウム「人材確保最前線 ～若者が集まる福祉を描く～」
- シンポジウム「社会起業家から見る人材確保戦略 ～昔のやり方はもう古い。これからの人材確保戦略とは。～」
- シンポジウム「社会福祉法人が生き抜くための人材確保戦略～これまでの地域福祉を作り上げてきた社会福祉法人が発展すれば未来は明るい～」
- クロストーク「これからの福祉とこれからの福祉人材 ～それぞれの専門分野から考える～」

【福祉法人】 NPとの連携強化



北海道、宮城、新潟、九州、沖縄の福祉人材確保を行う団体とのネットワーク形成のための活動を行っています。他地域のNPと情報交換をすることで、その連携を強化しています。さらにネットワークを広げていくため、F2Fは全国に活動を展開していきます。

【福祉法人】 講演活動



全国各地で、福祉従事者や経営者向け、大学・専門学校生向けの講演活動を行っています。

これからの10年を見据え、 社会に求められる福祉人材を輩出していく

1 たくさんの学生に福祉の仕事のリアルを知ってもらう

福祉学科を卒業する学生の半数以上が福祉職以外への就職をしている現状があります。

それは、福祉の仕事の「リアル」を知らないから。

学校での勉強やメディアからの情報だけではなく、現場を見たり、働く職員の声を聞くことで、

たくさんの学生に福祉の仕事「オモシロイ!」と思ってもらえるきっかけづくりをします。



2 福祉業界への定着を促進する

新規卒業者は3年以内に約4割の人が離職をしています。

福祉に希望を持って働き始めた若手人材が、希望を持ち続けたまま働き続けられるように。

新規人材定着・育成のサポートや、法人のマネジメント力の強化に取り組んでいきます。

3 多様なセクター、多様な地域との連携の強化

福祉人材不足という課題は、FACE to FUKUSHIだけでは解決することはできません。

大学教員、福祉法人のみならず、デザイナー、経営コンサルタント、

ファシリテーターなど、多様なセクターと連携しながら事業を推進していきます。

また、全国各地で多くの仲間をつくり、多様な地域と連携しながら人材確保の取り組みを実践していきます。

共同代表
大原 裕介

クリエイティブな福祉に挑戦しよう

福祉はあらゆる仕事のハブになれる仕事です。福祉×農業、福祉×芸術、福祉×観光、福祉×食…。多種多様な「福祉」×「○○」があり、それが福祉の可能性の大きさだと思います。そんなクリエイティブな福祉を日本各地につかっていきたいと考えています。

共同代表
河内 崇典

社会を変える新しい仕事・働き方を

お金を稼ぐためだけでなく、誰かの役に立ち、社会をよくしていくための仕事。それが福祉の仕事です。私たちはこれからも組織や業界の壁を超えて、社会を変える新しい仕事・働き方を提案していきます。

一般社団法人 FACE to FUKUSHI

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1 大阪駅前第1ビル6階103号室

TEL : 06-4799-0108 MAIL : info@f2f.or.jp HP : http://f2f.or.jp

メルマガ募集中!

<http://f2f.or.jp/member/>



アナタとワタシのフクシのアシタ



**FACE to
FUKUSHI**

日本の“FUKUSHI”を、
世界最高の“welfare”に。

これからも私たちは、日本の福祉を築き上げる若者を応援するため
福祉人材の採用・育成・定着に取り組んでいきます。

そのために、私たちは常に協働パートナーを求めています。

各地域でご尽力されている福祉法人の皆様や、
これからの時代に向けて、チャレンジする企業の皆様など、
お気軽にご相談ください。

info@f2f.or.jp

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION